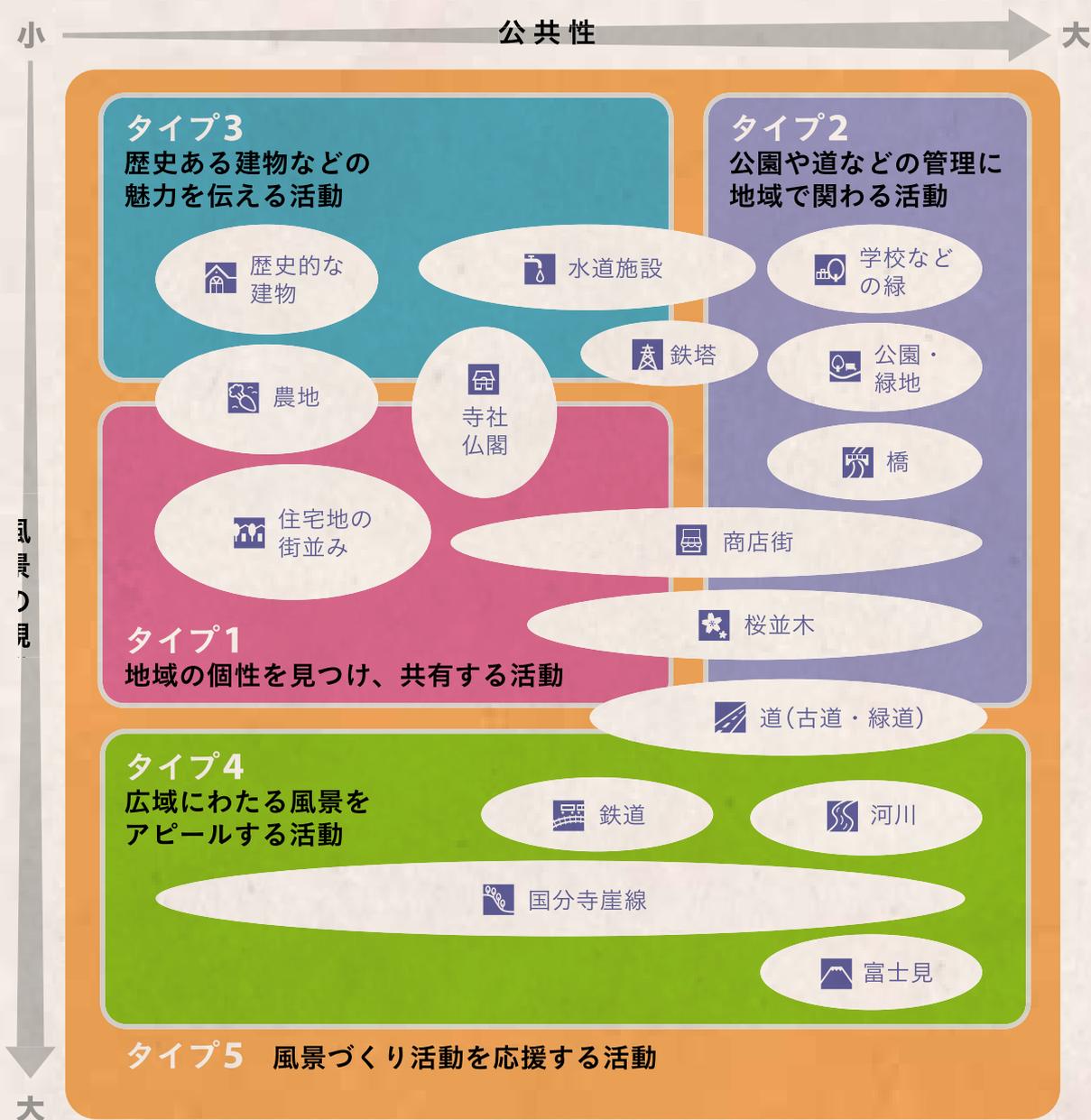


風景づくり活動 大図鑑

5タイプ別 風景づくり 活動紹介

地域風景資産の種類を手がかりに、風景づくり活動を5つのタイプに整理し、活動グループの特徴的な取組みを紹介します。活動をはじめる、そして広げるヒントにしてください！

風景づくり活動 と 地域風景資産の種類の関係



タイプ 1

地域の個性を見つけ、共有する活動

地域の住民自らが、地域の特徴ある資源を発見・共有することから、地域の個性ある風景を活かし、育てる風景づくり活動を紹介します。

若林街づくり協議会

 若林3丁目緑の小道 (II-9)



住宅の裏を流れる用水路は「緑の小道」という名前で生まれ変わった

住民の出会いを生む 清掃・花づくり

「若林3丁目の小道」は、住民の提案をきっかけに、住宅地の中の用水路を活かして、緑豊かで安心して歩ける道として整備されました。災害時には、避難路としての役割を果たします。グループでは、区と管理協定を締結し、月1回の清掃活動、月2～3回花の手入れを行うとともに、季節の花の寄せ植えや園芸相談の会なども開催しています。グループとしては防災が活動の柱ですが、そこに風景づくりが加わることによって、住民同士が知り合い、地域の交流の輪が広がってきています。

特定非営利活動法人 土とみどりを守る会

   奥沢海軍村ゆかりの風景 (II-13)、大ケヤキのある散歩道 (I-20)



シンボルフラワーであるチェリーセージポットのメンテナンス

みどりを通して 意識を共有

街並み選奨・景観木の選定、グループのシンボルフラワーの苗の配布やポットの設置などを通して、住民の手でまち全体の花やみどりが増えつつあるのを感じます。昨今は街の落ち葉はきプロジェクトにもトライ！街のクリーン化に対する地域の理解も広がりつつあります。

喜多見ポンポコ会議

       慶元寺三重塔の見える風景 (I-26) など



「喜多見ベスト10」では子どもも夢中で投票！

ミニコミ誌で魅力を伝える

野川の生きもの調査「野川ガサガサ」やミニコミ誌「ポンポコ新聞」の発行などにより喜多見の魅力の再発見と発信に力を注いでいます。地域のイベントで行った「喜多見ベスト10」を決める投票には、子どもから大人まで楽しく参加！直接聞いた思いを受けて、グループの活動内容を広げています。

元気でやさしい松陰神社通りまちづくりの会

 元気でやさしい松陰神社通り (II-8)



吉田松陰にちなんだ萩・世田谷幕末維新祭り

商店街の特徴を風景に活かす

幕末維新祭りやユニバーサルデザインに取り組んでいる商店街ということで、遠くから見学に来る方もたくさんいます。ごみのないきれいな道路を維持して気持ちよく歩いていただきたいと、月1回清掃活動を行っています。清掃活動に参加していただいた方には、商店街で利用できる買物券をプレゼント。

ぐるうぷ街

   玉石垣のある風景 (I-3)、心なごむ桜丘の原風景 (I-4)



20年も続けている5年に1度の緑の分布調査

地域の緑をくまなく把握する

草木も生き物も種類が豊かな桜丘の魅力を通して、子どもたちに自然との関わりを楽しんでもらいたい…。20年以上にわたり地域の資源である屋敷林や農地の分布調査を積み重ねつつ、子どもたちを対象に地域資源の魅力を味わうイベントの開催や、小学校の授業で花植えなどを行っています。

住宅地の街並み	商店街	桜並木	農地	寺社仏閣
学校などの緑	公園・緑地	橋	道(古道・緑道)	歴史的な建物
水道施設	鉄塔	鉄道	河川	国分寺崖線

深沢・桜新町さくらフォーラム

  旧・新町住宅地の桜並木(II-10)、呑川親水公園(I-10)



秋のみどりのまち歩き

歴史と桜のまち歩きが人気

春のお花見・秋のまち歩き、年4回のニュースター発行、6月頃に行うコンサートとセットの室内での集いが定着しています。町会の桜並木清掃活動への参加、商店街のさくらまつりへの出展、他地域との交流、公園管理事務所との情報交換を通して、風景づくりの啓発活動を進めています。

上北沢桜並木会議

  上北沢駅前の桜並木(I-33)



観察会には地域の子どもたちも参加

桜の健康診断を行う

安全で住みやすいまちを目指し、地域が抱えるさまざまな問題を皆で考え、情報発信や実践的な活動を行っています。区と協働で桜並木の維持管理、地域の人たちと実態調査や清掃活動などを続けています。並木道も安心して歩けるように、自動車優先の2車線から1車線に変更してもらいました。

法人格 成城自治会、成城地区成城会

  成城の桜並木といちょう並木(II-22)



地域の恒例行事になった落ち葉はき

地域の学校や企業との輪を広げる

春・秋には地元の学校や企業、商店街などの協力を得て並木の清掃を行ったり、地域の桜祭りへ参加することで、並木の風景に対する理解や協力が深まっています。「邪魔」「掃くのが大変」「駐車場を作りたい」などの理由で桜を切っただけという相談は、ずいぶん少なくなりました。

豪徳寺駅周辺風景づくりの会

  歩いて楽しい北沢川緑道(II-14)、古道・滝坂道(II-15)



シャレットワークショップで地域と専門家が提案づくり

地域でアイデアを出し合う

まち歩きや勉強会の開催、マップや手書きの通信、銘板の作成など、幅広く取り組んでいます。さらに、専門家の協力で、地域住民でまちを歩き、絵を描きながら、資産を守り育てるアイデアを出し合うシャレットワークショップを開催。まとめた提案は、発表・展示し、多くの意見が得られました。

船橋小径の会

 季節の野草に出会う小径(I-30)



土の小径の温かみを伝える手づくりの看板

広がる「手づくり」の地域文化

地域の人に「小径」という愛称で呼ばれている土の小径。毎週の管理はもちろんのこと、小径の植物を活かした作品づくり「小径工房」では、身近な自然の大切さをPR。小径のお菓子や歌の誕生、近くの能勢公園への歴史看板設置など、日々の活動から地域の話づくりにつながっています。

世田谷風景じゅく

 せたがやボロ市が開催される大山道(II-18)



ボロ市のブースは他のグループとシェアしている

人気のボロ市で資産をPR

大山街道としての歴史があり、代官屋敷も残るボロ市通り。毎年せたがやボロ市やホテル祭りなどでは、地域風景資産の活動グループと連携して出店し、地域風景資産のPRやグッズ販売などを行っています。沿道の店舗のシャッターには、大山街道を描いたシャッター絵巻も実現しました。

公園や道などの管理に地域で関わる活動

公園・緑地、道路などの公共的な場に、地域の住民が関わっていくことで、コミュニティの要となり、いきいきと賑わう風景が生み出されます。

桜並木と呑川緑道を守る会

  四季の移ろいに心ときめく安らぎの道
「桜並木と呑川緑道公園」(II-11)



掲示板に飾った短歌・俳句は交流のきっかけに

短歌・俳句で詩情溢れる散歩道に…

緑道内に2ヶ所ある掲示板には、短歌・俳句の色紙や短冊を毎月換えて飾っています。散歩する方々が、読んでほっとする爽やかな作品を…と努めています。また、緑道の四季の風景写真と短歌・俳句をコラボレートした葉書を作成しPRを行っています。花壇は見る人が癒される色調を心がけています。お花見には遠路訪ねる大勢の人で賑わいます。“本当に素敵な緑道ですね”と感激的に言われるのは、至福の喜びです。

長島風景の会

 長島大榎公園境界の緑(II-16)



豊かな緑の中、真剣にベーゴマ遊び

公園での昔遊び体験が子どもの原風景をつくる

今も緑深い長島大榎公園境界は、かつての子どもたちがチャンバラなどをして遊んだ、地域の人々の思い出の森。今の子どもたちにとっても心に残る大切な場所になってほしいという思いから、子どもの昔遊び・七輪体験・自然観察会などを行っています。「子どもの風景まつり」では、地域の10数団体が連携、約200名が参加し大盛況！徐々に参加連携団体も増えており、コミュニティが集う機会となっています。

里山コア会議

  成城三丁目緑地(I-27)



国分寺崖線の急斜面を体感する保全活動

成城の里山を研修や授業のフィールドに

植生調査、笹刈り、竹の間引き、園路の補修、落ち葉かきなどの毎月の保全活動に加え、約50名の親子を対象とした「夏休み里山体験教室」を主催しています。

隣接する小学校の総合学習、学生のインターンシップ、企業の社外研修事業のフィールドとして評判がよく、リピーターが増えています。

特定非営利活動法人 プレーパークせたがや

 羽根木公園にある羽根木プレーパーク(II-2)



都会では珍しくなった「たき火」の風景も健在

幅広い世代の居場所づくり

1979年に開設した日本初の常設プレーパーク。子どもが生き生き遊べる場所を「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーとし、地域住民が運営を担っています。2011年には、乳幼児の親子と多世代の交流のハウス「そらまめハウス」がオープン。これまで立ち寄りづらかった乳児連れやお年寄りも、集いやすい場となりました。

凡例	住宅地の街並み	商店街	桜並木	農地	寺社仏閣
	学校などの緑	公園・緑地	橋	道(古道・緑道)	歴史的な建物
	水道施設	鉄塔	鉄道	河川	国分寺崖線

新町パークフレンド

松林と大櫓のある世田谷新町公園(I-9)



手づくりの水鉄砲で遊ぶ親子で賑わう新町公園

公園を地域の交流の入口に
公園管理事務所と管理協定を結び、花づくりや土づくり、ごみ拾いなどを、週1回行っています。
夏には、子どもと手づくりの水鉄砲遊びを続けています。活動を続けることで、子どもから大人まで、地域の方と何気ないコミュニケーションが生まれています。

森の児童館

森の児童館(I-16)



児童館と公園が一体となったみどり豊かな風景

ホームページなどで情報発信
豊かな環境で育つ子どもたちがいる森の児童館の風景を、ぜひ地域風景資産にと思い推薦しました。
児童館運営のお手伝いをしながら、児童館のイベント情報をせたがやカフェ(p.18)のホームページで紹介したり、地域風景資産のプレートを児童館に設置しPRしています。

三宿の森を育てる会

三宿の森緑地(II-4)



ビオトープ池は校外学習のフィールドにも

生き物や自然を愛で楽しむ
毎月の管理作業に加え、9月に「秋の虫の音を聞く会」、3月は「身近な鳥に親しむ会」を開催。活動を見て入会してくださる人もいたり、子どもたちとのふれあいもあり、楽しく活動しています。
開園にも尽力した地区町内会が、イベントチラシを回覧板で回すなど、頼もしい協力も！

仙川・緑と水の会

仙川・川面に映る桜並木道(II-27)



桜の花びら型のプレート(上)
地域の風景の写真展(下)

プレートや写真展でアピール
風景の魅力を伝えることが大切！地元出身のアーティストと地域風景資産のマークをあしらったプレートを作成。仙川の柵へ設置の際には、仙川沿いの東宝スタジオの方の参加も得られました。地域の風景の写真展は毎年開催。身近な自然のよさに感激したという声をいただいています。

松並木風景を観察する会

九品仏浄真寺脇(南側)のクロマツの並木(II-12)



新たに植えられた松の木も測定

暮らしの中で風景を楽しむ
毎日の散歩コースとして、季節や時間の変化を楽しんでいます。この道の風景を絶賛する人はとても多く、付近の古い写真の提供も受けたりと、地域にゆるやかな共感の輪が広がっています。
毎年松の幹の太さを測定し、記録しています。微量ですが成長していると感じます。

特定非営利活動法人 芦花公園花の丘友の会

蘆花恒春園花の丘(I-31)、水辺の自然とふれあえる蘆花恒春園「みんなのとんぼ池」「やごの楽校」(II-20)



「花の丘フェスタ」は毎月開催
盆踊りや演芸発表なども

資金を確保し自立した活動を
2,000㎡の花壇の管理、芦花公園みんなのトンボ池の清掃と自然観察資料館の管理を行っています。毎月多くの都民・区民が訪れる「芦花公園花の丘フェスタ」は、活動資金を得る機会にもなっています。
次は、ホテルが乱舞する「蛭せせらぎ」を作ろうかというアイデアも出ています。

歴史ある建物などの魅力を伝える活動

民間の建物をはじめとした資産の価値を、歴史・文化、地形などさまざまな角度から捉え、魅力を伝え、広める活動です。

せたがや道楽会

池尻稻荷神社を中心とする旧大山道 (I-1)



お年寄りへの聞き取り調査などをまとめた「世田ヶ谷見聞録」、「耳囊」や絵図

口述の歴史を伝え広める

池尻・三宿の歴史を民衆史の視点で掘り下げ、伝えることをテーマに活動しています。文献をひも解くだけでなく、地域の歴史や文化を知るために、お年寄りへの聞き取り調査や座談会を行い、ミニコミ誌で定期的に伝えるとともに、小冊子としてまとめました。地域の歴史を伝える写真展や講演会の開催、まち歩きや博物館での勉強会の開催なども行っています。地域の人や、他の地域で活動している人、大山道に関心がある人たちとのつながりが広がっています。

特定非営利活動法人 せたがや街並保存再生の会

清明亭 (I-12), 登録有形文化財の萩原邸 (II-7)



街歩き・見学会は120回を超える

専門的な調査や相談を担う

区内に現存する近代住宅の保存・再生・活用をはかる活動を続けています。毎月広く参加者を募り、区内の近代住宅の魅力を学ぶ、街歩き・見学会を開催しています。活動拠点「世田一ハウス」では、区内全域を対象にした近代住宅調査の実績を活かし、写真・家具などの展示や相談を行っています。

ざわざわ深沢駒沢倶楽部

秋山の森と旧秋山邸 (I-11)



所有者さんのご協力で実現したオープンガーデン

貴重な庭園の魅力を共有

「秋山の森と秋山邸」は、かつてこの一帯に広がっていたみどり豊かな農の風景を今でも感じさせてくれます。平成20年のオープンガーデンでは、回遊式庭園や古民家を200人以上が堪能しました。深沢・駒沢エリアの見どころマップも作成し、地域の魅力を伝えています。

北沢川文化遺産保存の会

代田の丘の61号鉄塔 (II-3), 代沢せせらぎ公園と北沢川緑道 (I-6)



地形や風景の痕跡をたよりに文士の足跡をたどる

「文学」から風景を読み解く

かつては多くの文士が住まい、交わったまち、下北沢界限。ここを「下北沢文士町」と名付け、萩原朔太郎ゆかりの「代田の丘の61号鉄塔」、坂口安吾ゆかりの「北沢川緑道」などを巡るツアーを実施しています。ブログでもその魅力を発信。特に鉄塔は地域の誇りとなっており、遠方からも見学に訪れます。

北沢再発見隊・世田谷古道研究会

北沢地域に隠れている石造物群 (II-1)



古道周辺に点在する石造物にスポットをあて歴史解説

隠れた歴史を掘り起こす

北沢川文化遺産保存の会のメンバーの一人として「都市物語を旅する会」を実施。地域風景資産「下北沢に隠れている石造物群」の紹介を行い、石造物群が下北沢に多くあることを伝えています。今後も、古道や地形と石造物群の研究を進めたいと考えています。

タイプ 4

広域にわたる風景をアピールする活動

国分寺崖線や古道・鉄道など、広域にわたる風景をアピールし、存在を浮かび上がらせる活動です。

崖線みどりの絆・せたがや

 喜多見ふれあい広場から見た「野川と国分寺崖線の纏まった緑」(II-23)など



国分寺崖線で活動するさまざまなグループに属するメンバーでまち歩き調査

活動の連携でダイナミックな運動に

選定をきっかけとして、国分寺崖線で活動を行っている団体が連携して風景づくりを進めていこうと、グループを立ち上げました。所有者との関係づくりを行いながら、民有地のみどりの担保活動を進めています。

また、「野川とハケの森の会」と連携し、野川の清掃やバードウォッチング、緑地の清掃など、現場での取組みも行っています。地元の小学生がバードウォッチングを続けていたり、親子の会員が増えて、地域に取組みが浸透しつつあります。

世田谷線とせたがやを良くする会

 ほっとやすらく世田谷線界隈の情景(II-17)



世田谷線山下駅前にできた拠点「たまでんカフェ山下」にて世田谷線大学を開催

世田谷線で遊び、カフェで学ぶ

商店街などの地域の人々とともに、山下駅に隣接する花壇づくりや、世田谷線沿線イベントへ積極的に参加しています。

山下駅前に構えた拠点「たまでんカフェ山下」で、定期的に「世田谷線大学」と銘打って講演会を行ったり、鉄道模型試運転会、世田谷線の写真展などを開催し、多くの方が訪れて交流が生まれています。

世田谷線の軌道緑化やLRT化を夢見て、広島・富山などへの視察も重ねています。

駒沢給水塔風景資産保存会

 双子の給水塔の聳え立つ風景(I-2)



通常非公開の給水場での年1回の見学会は大人気

近代水道がつなげる風景

給水場内の見学会を筆頭に、勉強会・写真展の開催、会誌の発行、銘板の設置、ビデオ製作など、幅広く活動しています。

さらには、砧下浄水場から駒沢給水所まで水道道路を歩くツアーを開催するなど、活動範囲は、大正時代に完成した近代水道である「渋谷水道」全体に広がっています。

大山みちの会

 池尻稲荷神社を中心とする旧大山道(I-1)



地域の方で賑わう池尻稲荷神社での寄席

現代に街道文化を育む

大山街道ウォークや大山杯将棋大会、講演会の開催や会報の発行など、大山街道の魅力や文化を掘り起こし、味わう取組みを続けています。寄席・フォークライブコンサートは、池尻稲荷神社と協働で行っています。

高津・下鶴間・伊勢原など大山街道が通るまちとの連携も育み、交流が生まれています。

風景づくり活動を応援する活動

地域風景資産で行われている風景づくり活動を、支援する取り組みです。

せたがやカフェ



ホームページでは、旬な活動情報を発信！

地域風景資産のPR・記録 活動グループの交流促進

地域風景資産全体の活動の活性化・支援を行おうと、第1回地域風景資産選定後に有志が集まり結成しました。

地域風景資産を現場に風景づくり活動しているグループとの連携のもと、地域風景資産を巡るまち歩きや活動グループの交流会の開催、資産を紹介する映像やマップの作成などを行っています。ホームページでは、資産や活動の紹介だけでなく、旬なイベント情報も紹介しています。

URL : <http://setagaya-cafe.sakura.ne.jp/>

区の支援や協働事業での取り組み

区の支援や、活動グループと区の協働事業でも、風景づくり活動を応援する取り組みを行っています。主な取り組みをご紹介します。

交流の場づくり・まち歩きの開催

活動を進める区民同士や区との交流・情報交換の場づくりを行っています。



「風景づくりフォーラム」

風景に関心のある方の交流・情報交換の場です。ぜひご参加ください！



活動人によるガイドも好評！

まち歩き

旬な情報の発信

活動紹介やイベント情報など、旬な情報の発信を行っています。



「風景づくり通信」

マップや冊子でのPR

地域風景資産をより多くの方に知っていただき、関心をもっていただくために、資産を紹介するマップや冊子を発行しています。



※ 協働事業を通して、活動グループと区が協力して作成